

浜の民話

亘理郡亘理町

周辺の民話

2011・3・11

大津波に襲われた沿岸集落で  
かつて聞いた

い  
い  
つ  
た  
え  
む  
か  
し  
ば  
な  
し  
は  
な  
し  
そ  
の  
丸



民話の語り手をたずね、  
その土地に伝承された民話を聞き歩く活動を  
約45年にわたり続けてきた  
「みやぎ民話の会」が、  
亘理町周辺で、  
かつて聞いた民話を紹介します。



2021年11月1日(月) - 2022年2月6日(日)

※11月25日(木)、12月28日(火)~1月3日(月)、27日(木)は休館日

時間 9:00~20:00

せんだいメディアテーク 7階スタジオ a

観覧無料

- 泣  
っ  
ち  
ゃ  
み  
屋  
敷
- 八  
人  
の  
娘  
が  
大  
蛇  
に  
食  
わ  
れ  
る  
話
- 息  
つ  
く  
竹
- 怠  
け  
者  
の  
ゆ  
め
- カ  
ッ  
コ  
ウ  
鳥
- 松  
の  
木  
の  
根  
に  
注  
射
- 消  
え  
た  
笹  
か  
ま  
ぼ  
こ
- キ  
ツ  
ネ  
に  
化  
か  
さ  
れ  
な  
か  
っ  
た  
お  
ば  
ん  
ち  
ゃ  
ん
- キ  
ツ  
ネ  
の  
恩  
返  
し
- 浜  
の  
魚  
屋  
と  
キ  
ツ  
ネ
- キ  
ジ  
も  
鳴  
か  
ず  
ば  
撃  
た  
れ  
ま  
い
- 聞  
き  
違  
え

2011・3・11

## 大津波に襲われた沿岸集落でかつて聞いた いいつたえ、むかしばなし、はなし

この展示で紹介するお話は、みやぎ民話の会が、1985年から1988年にかけて、宮城県から委託を受けて行った「宮城県民話伝承調査」の際に聞き書きした民話です。

語った方の大部分は、震災の前にすでに亡くなっています。そして、語られた土地の姿はいま大きく変化し、若い人の多くは浜を去ることを余儀なくされるという現状もあります。しかし、手許に残った語りは、かつてここで生きていた人々の姿を、ありありと伝えてくれます。

2011年3月11日の大津波で大きな被害をこうむった宮城県内の沿岸集落でかつて聞いた話から、小野和子が10話程度を選んで紹介するシリーズ展です。

第9回目となる今回は、亘理町で聞いた12話をご紹介します。

### 予告

#### 「第8回 民話ゆうわ座」

2022年1月16日(日) 13:00-16:00

せんだいメディアテーク1fオープンスクエア

要事前申込み(詳細未定)

「民話ゆうわ座」では、誰もが知っている日本の民話を題材に、みやぎ民話の会が1974年から採訪し記録してきた、民話語りの映像や音声を見たり聞いたりします。先人の声に耳をすませ、そこから感じたみなさんの思いや考えを自由に話し合いながら、民話の深淵に近づこうという試みです。

主催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム

せんだいメディアテーク

助成：一般財団法人地域創造



メディア  
メディアーズ

「メディアスタディーズ」とは

せんだいメディアテークが市民団体と進めるプロジェクト。メディアを活用して、地域の文化をつくるさまざまなプロジェクト群の総称。「民話 声の図書室」も参加団体のひとつです。



### 「民話 声の図書室」とは

「民話 声の図書室」プロジェクトチームでは、みやぎ民話の会が記録してきた民話語りの映像・音声を、誰もが活かせる共有財産として、後の世代に手渡していくことを目指しています。

民話語りのCD作成、語りの映像撮影とDVD作成、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などを、せんだいメディアテークと協力して行っています。

### 「みやぎ民話の会」とは

宮城県を中心に東北地方の民話採訪・民話集編纂に従事してきた小野和子氏によって、1975年に設立されたサークルです。同県内を中心に山の村や海辺の町を歩き、そこで聞いた民話を記録し、その一部は『みやぎ民話の会叢書』としてまとめています。また、語り手と膝を交え、地域の伝承の語りに直に触れながら勉強をする「みやぎ民話の学校」の企画運営を行っています。

### お問い合わせ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室

仙台市青葉区春日町 2-1

電話 022-713-4483 FAX 022-713-4482

<https://www.smt.jp/>



※この紙はリサイクルできます